

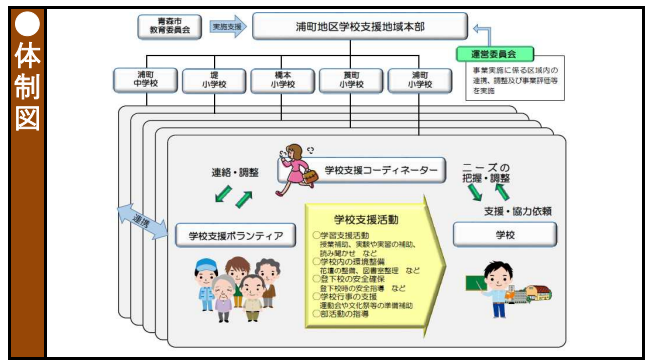
こんな活動です

「地域は教室、地域は世界の入り口」 ～子どももボランティアも笑顔になる活動～

青森県青森市	●活動名	●関係する学校名
	浦町地区学校支援地域本部	浦町中学校 堤小学校 貫町小学校 橋本小学校 浦町小学校

協働活動開始年度	平成 20 年度	関係学校数	5 校	のべ学級数	57 学級	のべ児童・生徒数	1265 人
活動区分	学校支援活動	—		—		—	
	—	放課後子供教室		—		—	
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		8人		
	—	—		—			
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有		
	平成31年4月1日設置	—	249人	—	—		
参考URL	—						

●連絡先 青森市教育委員会事務局文化学習活動推進課 ☎ 017-718-1376



●活動の概要・経緯
学校と地域が一体となって、次世代の子どもの健全な育成をめざす体制を整えるために、平成20年10月に「学校支援地域本部」を設置した。学校は、社会に開かれた教育課程の実践のため、地域人材や地域素材を活用した、良質できめ細やかな教育活動を展開している。
配置されているコーディネーターは、学校と学校支援ボランティア、あるいはボランティア間の連絡調整を行っており、学校のニーズに応じたコーディネートを実施するために、保護者をはじめ地域住民の参画に向けたボランティアリストを作成する他、地域にある諸団体、諸機関とのコミュニケーションを密にし、積極的に情報収集や地域への情報発信に努めている。

● 活動の特徴・工夫

- 【地域学校協働活動としての特徴的な取組】
- ①【多様な教育活動の支援】青森市中心部の立地を活かし、地域住民をゲストティーチャーとして授業の中に取り入れ子どもの経験・体験の拡大につながる教育活動を実践
 - ②【ボランティア募集の工夫】予め学校のニーズを把握、それに応じたボランティアを募集、年度初めから「即戦力」として活動
 - ③【地域団体との連携】学校支援コーディネーターは「社会福祉協議会」「防犯協会」「民生委員連絡会」「町会連合会」等にも積極的に参加し、情報共有に努め、学校と地域社会とのパイプ役として活動
 - ④【教育活動とボランティアの交流】様々な学校行事に地域住民を招待、学校と地域住民とのコミュニケーションを深めている
 - ⑤【地域と学校のコラボ活動】おやじの会の「地域ねぶた」など地域住民が参加する郷土の特色を生かした活動

【実施に当たっての工夫】

- ・学校の窓口となる教諭や学年主任等と共に、学校のニーズを把握しながら年間活動計画を年度当初に作成して効率的にコーディネートをを行うため、学校のニーズに基づき計画的なボランティア募集によりボランティアの方々それぞれに活躍の機会が多く得られている。
- ・学校でボランティアが活動する際にはコーディネーターも同席し、活動の様子を記録する他、活動後にはボランティアとの話し合いの場を設け、次の活動に生かすなど、PDCAを重視している。
- ・地域にある諸団体とのコミュニケーションを深めるため日ごろからコーディネーターが率先して各種団体の会議に参加。多方面からの情報収集と地域への情報発信に努め、企画調整に役立てている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- 【学校の教育力アップ】子どもたちの経験・体験が増え、多様な授業展開や学習意欲の喚起につながっている。また、地域住民との触れ合いを通し、子どもたちの規範意識やコミュニケーション能力の向上につながっている。
- 【地域の教育力アップ】地域住民が自らの経験を学校教育に生かすことで自己実現や生きがいにつながっている。また、地域住民同士のコミュニケーションが深まり、地域の活性化につながっている。
- 【地域のネットワークアップ】より多くの地域住民が学校教育にかかわることで、相互理解を深め、学校を核とした「地域全体」で子どもを育てる体制づくりにつながっている。

● その他

毎週決まった曜日に実施している、教員のOBによる放課後学習は子どもたちの学習に対する自信につながっている。おやじの会主催の「地域ねぶた」運行は、地域の小・中学校の児童生徒や地域住民が参加する郷土色を生かしたイベントである。



教員のOBによる放課後学習の様子



地域参加する「中学校の児童生徒」の「地域ねぶた」運行